

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 5月 7日

事業所名 りんくる真栄原

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6			活動部屋、学習 室、静養室があり、 用途によって使い 分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	6			外にスロープがあ る。	スロープはあるが、トイレに手すりはない。改装も 難しい状況。
業務改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6			ホームページ内の 事業所案内ページ に掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	1			運営指導で指摘して頂いた事項を見直し、業務 改善に繋げていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6			児童の特性に合わ せて、定期的に研 修の機会がある。	
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6			児童本人の課題を 見直し、保護者様 のニーズも取り入 れながら新しい課 題を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	6			児童が楽しく過こ せるよう、色々な案 を考え、実行してい る。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6			必ず、振り返りや 気付いた点を話し 合い、情報共有し ている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			毎日のミーティン グで記録を共有し、 より良い支援に繋 げている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			個別会議を行い、本人や保護者様の気持ちを含めた内容を計画書に盛り込んでいる。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			下校時間に不明点があった場合は学校へ連絡し、確認している。(各学校の情報ツールも活用している) トラブル発生時等も、先生と直接話をして情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	1		事例がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4		計画相談員さんを介して、情報共有を行っている。	契約前の担当者会議でしっかり引き継ぎと情報共有を行っていききたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	1		事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3			積極的に研修に参加し、助言をもらう機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		近場の公園で、地域の子供達と一緒に遊ぶ機会がある。 他事業所との交流を設けている。	児童センターや地域の公園等で関われる機会を設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3			市町村の集まりに積極的に参加していくようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			連絡ノートや電話、LINEにより、日々の様子を伝え、共通理解ができるように心掛けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		保護者様向けの研修がある場合には案内している。	今後も研修案内を積極的に行っていききたい。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			電話やモニタリング等で話を聞く機会を設け、その都度助言を行っている。 保護者会にて、聞きやすい雰囲気作りを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
者 へ の 説 明 責 任 等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			予定表を配布したり、blogにて、児童の様子や行事等を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6			個人が特定されるような情報は、必ずシュレッダーを使って処分している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	1	年に一度、発表会を開催しており、幅広く招待するようにしている。	発表会にて事業所を更に知ってもらえるようにしたい。 個人情報を気にする保護者様も居るため、行事に積極底に地域住民を招待する事が難しい状況もある。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			会議等で会う機会を通して、定期的に周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			半年に一度、避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4			事例がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		指示書はないが、保護者様としっかり連携を取り対応している。	今後も、保護者様と密に連携を図りながら対応し、職員間での共有も徹底したい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				